

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和7年7月30日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	名古屋四日市国際港湾株式会社
所 在 地	愛知県名古屋市港区港町1番11号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 吉田 毅
担 当 者 連 絡 先	電 話：052-307-4921
	メー ル：kikaku@nypc.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	http://www.nypc.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

名古屋港の飛島ふ頭北・南・南側、及びNCBの各コンテナターミナル、並びに鍋田ふ頭コンテナターミナルを、四日市港の霞ヶ浦地区の北及び南埠頭の各コンテナターミナルを一元的に管理運営しております。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・コンテナターミナルの効率的な管理運営や生産性向上に向けた施設整備	○飛島南側コンテナターミナルの機能強化 ・大型船対応のため係留ビットの増設 ○霞ヶ浦コンテナターミナル機能強化 ・岸壁の整備、泊地の浚渫による国際物流ターミナルの拡張
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・環境性能や安全性向上を意識した施設提供、大規模災害発生時における物流機能の早期復旧に向けた取組	○ガントリークレーン更新事業の推進 ▶モータのインバータ制御方式化や照明のLED化による省電力化 ▶舶衝突防止装置搭載による安全性向上 ・鍋田コンテナターミナルT1岸壁3基 ・鍋田コンテナターミナルT2岸壁2基 ・NCBコンテナターミナルR2岸壁2基 ▶免震装置搭載による災害発生時の可用性向上 ・NCBコンテナターミナルR2岸壁2基(免震)

(様式第2号)

企業・団体名(名古屋四日市国際港湾株式)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメントを禁止する旨を、就業規則に明記し、相談窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる									8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3						8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3															
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	育児関連休暇・在宅勤務・時差出勤を制度化し、従業員が働きやすい環境づくりに取り組んでいる。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	外部研修等への参加を促し、人材育成に取り組んでいる。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	全社員に対して定期健康診断を行うとともに、名古屋港湾健康保険組合によるがん検診を奨励している。			3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	事業所から発生する廃棄物については、適正に分別し、3Rの推進に取り組んでいる。											11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	ガントリークレーンのモータインバータ制御方式化や、照明のLED化による省電力化に取り組んでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3						11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9				6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	ガントリークレーンの舶衝突防止装置搭載による安全性向上に取り組んでいる。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	コンテナターミナルの効率的運営・機能強化による、港湾利用者サービスのより一層の向上に取り組んでいる。									9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	ガントリークレーンのモータインバータ制御方式化や、照明のLED化による省電力化に取り組んでいる。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	ガントリークレーンの免震装置搭載により、大規模災害発生時における物流機能の早期復旧が図れるよう取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	中部圏の「ものづくり産業」を物流面で支え、地域経済の発展、市民生活の向上及び国際的な通商の伸展に取り組んでいる。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる				4								11			14	15		17
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDG s の達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	中期経営計画においてSDGs達成に向けた取組施策を社内で共有している。								8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	反社会的勢力の排除を定めた社員行動指針を制定し社内で共有している。 当社施設の貸付契約書では、反社会的勢力への貸付は認めず、法令遵守等を規定している。																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																	16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）																	16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	情報セキュリティ管理規程を策定するとともに、社内情報システムの強化(セキュリティ対策)、サイバー攻撃の発生を想定した訓練の実施【予定】																16	
33	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	中期経営計画を策定し、社会貢献に取り組んでいる。																16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	事業継続計画を策定するとともに、港湾関係機関等が策定する各種BC P との連携や訓練参加を通じ実効性を高めるため取り組んでいる。									9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。（空欄で結構です。）
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。